

1. 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	④ 3 2 1
・教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4 ③ 2 1
・教育理念・目標は定期的に見直されているか	4 ③ 2 1
・理念・目標が教職員・学生に浸透しているか	④ 3 2 1

〔現状の問題点〕

教育目標は若干抽象的な表現であり分かりにくい部分がある。

教育理念・目標は新設校でもあり開校以来、見直されていないが、社会変化など環境も大きく変化しているため、見直す必要を感じる。

〔改善のための方策〕

教育理念および目標について、社会状況の変化にあわせ見直しを検討し、必要に応じ改変し、来年度の学生の手引きに反映し、教職員および学生への周知徹底を図る。

2. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・カリキュラムは教育目標が反映されているか	④ 3 2 1
・定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	④ 3 2 1
・テキストや教材は適切なものを選定しているか	④ 3 2 1
・シラバスが作成され学生に配布されているか	④ 3 2 1
・授業の点検・評価が適切に実施されているか	④ 3 2 1
・資格試験の合格率は	④ 3 2 1
・資格試験不合格者の対策は	4 ③ 2 1
・評価は適切な方法で行われているか	④ 3 2 1
・目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4 ③ 2 1
・進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	④ 3 2 1

〔現状の問題点〕

国家試験の全年度不合格者(卒業生)に対するフォローが必ずしも十分でない。
既に卒業しているため、学習状況の把握や管理が困難である。
聴講生として、希望科目については受講ができるが、積極的な受講が望めない。

目標に達しない学生に対する面接指導などを成績判定会議の決定を基に行っているが
十分な成果を導きだしているとは言えない。

〔改善のための方策〕

卒業生に対しては、出来る限りの情報提供を行い支援を行う努力を継続するが、まず、
卒業時点の国家試験の合格率を高めることが、より重要である。

そのため、目標に達しない学生には、保護者を交えた面接指導や課題学習および再々試験
をも考慮して指導し、学年終了時には目標を達成できるようよりきめ細かな指導を行う

3. 学生受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集のための広報資料の表現・内容ならびに広報活動の方法・時期は適切	4 (3) 2 1
・入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	(4) 3 2 1
・募集要項の内容は適切か	(4) 3 2 1
・学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4 (3) 2 1
・入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	(4) 3 2 1
・志願者状況、定員充足率はどうか	4 (3) 2 1
・中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	(4) 3 2 1

〔現状の問題点〕

入学者の内、大半を占める高校新卒者については、募集時期などを含めて適正に行われ結果も満足できるものであるが、反面、夜間部の学生となる社会人の募集については、時期、内容、手法について、また定員充足率も含めて見直す必要がある。

中途退学は、経済的な理由が最も多く、ついで学習成績不良が原因である。

〔改善のための方策〕

広報などに、授業評価アンケートの結果や学校評価などの結果を積極的に掲載することを検討する。そのことによってよりオープンな学校のイメージを伝えることで、入学前に学校の適正な理解を深めることとする。

経済的な問題には、金融機関と連携し、卒業後の返済で可能な独自の教育ローンを構築し、また、公的奨学金の活用も積極的に支援する。

学業成績不良者には、各学期ごとにきめ細かな指導を行い、必要に応じて保護者（保証人）を含めた面接を実施することで改善を促す努力を行う。

4. 教職員組織

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・専任教員は設置基準を満たしているか	④ 3 2 1
・専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	④ 3 2 1
・教職員の業務分掌は明確になっているか	4 ③ 2 1
・教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4 3 ② 1
・教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4 ③ 2 1
・職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	④ 3 2 1

〔現状の問題点〕

教職員の分掌は、やや形骸化した部分がみられる。

教職員の各種の研修会を実施してきたが、十分に成果見られたとは言えない

教職員の能力、業務内容の評価は実施しているが、明文化がないのが現状である。

〔改善のための方策〕

来年度の鍼灸科の増設が決定した時点で、新たな公務分掌の構築を図ることとする。

本年度も教職員の研修会を実施し、継続しながら資質向上を図る。

教職員の能力、業務内容の評価を少なくとも年度末に行い、明文化する。

5. 施設、設備

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習設備は整備されているか	④ 3 2 1
・講義室・実習室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1
・学生が自学自習できる教室を有しているか	④ 3 2 1
・図書室は適切に整備されているか	4 ③ 2 1
・保健室は適切に整備されているか	④ 3 2 1
・教育用機器備品は整備されており活用されているか	4 ③ 2 1
・教職員室の管理は適切に行われているか	4 ③ 2 1

〔現状の問題点〕

図書室の蔵書についていっそうの充実を図る必要がある。
教育機器備品は整備されているが、一部活用がされていないものがある。
教職員室は、整理整頓が必要である。

〔改善のための方策〕

来年度の鍼灸科の増設を機に、蔵書の大幅な追加を行う。
教務との連携を図り、授業内での活用を模索する。
教職員室のロッカーなどの担当者を決め、整理整頓を図る。

6. 学生生活の支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・奨学金等、経済的支援は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	④ 3 2 1
・各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4 ③ 2 1
・防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	④ 3 2 1
・セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4 3 2 ①
・進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	④ 3 2 1
・新たな求人開拓の努力はしているか	④ 3 2 1

〔現状の問題点〕

学校行事について、新たな視点からの展開を検討する部分が不十分である。
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備が明文化されいない。

〔改善のための方策〕

学校経営委員会において、学校の教育の目標と勘案した学校行事について再度、検討する。
年度内に、セクシャルハラスメントに関する内規を整備し実行する。

7. 管理、運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・理事会・評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	④ 3 2 1
・理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	④ 3 2 1
・就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	④ 3 2 1
・就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	④ 3 2 1
・組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	④ 3 2 1
・消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	④ 3 2 1
・財務分析比率は適切な数字になっているか	④ 3 2 1
・学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1

〔現状の問題点〕

特に大きな問題点は見当たらないが、理事等との教職員との意見交換の場などを設けることを検討する必要があると思われる。

〔改善のための方策〕

理事会などの終了後などに食事会を含めた意見交換の場を設け有効に活用する。